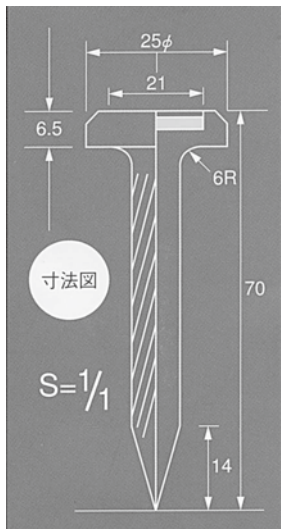




自他掘削工事に於ける事故の未然防止をはじめ、埋設管の保全と管理に大きな効果を発揮します。

夜間における事故など緊急の際にも管の位置を懐中電灯で2mの距離から確認できます



これは鑄鉄管とその口径を標示しています。
埋設管をアスファルト路面より管種、口径を標示することで維持管理が容易になります。



これは流水方向を矢印で標示しています。
流水方向・分水位置・泥吐管等を標示することで維持管理が容易になります。



これは分水栓の位置を標示しています。
引き込み分水栓の分岐位置を標示することで位置の確認が容易になります。



これはガス管の位置を標示しています。
管工事の掘削にあたり、地下に管の埋設を標示し、掘削事故を未然に防止します。

※この他、特殊な文字・色等のご注文も承ります。

施行方法（電気ドリルによる方法）

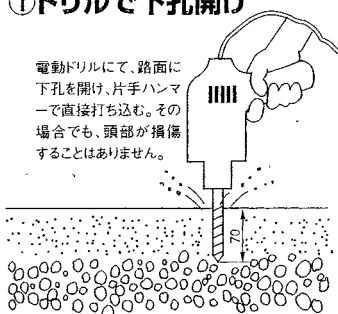
下孔開ける場合

（アスファルトの路面はドリル刃:φ8.5）
コンクリート路面はドリル刃:φ8.7

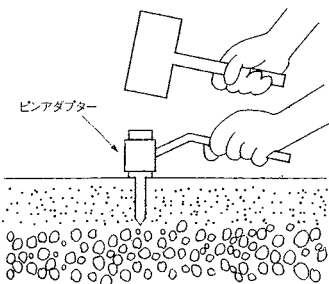
※いずれもコンクリートドリル刃をご使用下さい。

①ドリルで下孔開け

電動ドリルにて、路面に下孔を開け、片手ハンマーで直接打ち込む。その場合でも、頭部が損傷することはありません。



②ピンを打ち込む



③施行完了

